

1. 市内循環バス再編計画（案）に対する意見

○再編の方針について

- ・「循環バス再編の方針」の最も原則的な事として、「交通空白地帯の解消と、交通弱者の移動手段を確保することを堅持する。」と、最初に明記すべきと考える。
- ・バス事業そのものの採算を考えるだけでなく、意見にあったように、交通安全対策交付金を含めた各種交付金や地方交付税措置などで、一定の支援体制はある。その活用で現在も成り立っているのですから、原則は堅持し、明記すべきである。
- ・パブコメをしたから、手続きを進めるというワンパターンではなく、丁寧に進めていただきたい。
- ・常に原点を忘れるべきではない。

○ルートについて

- ・パブコメの数だけが根拠ではないが、路線やバス停が無くなる地域の中で、薬師堂の地域の声は、切実なもので、無視できないと考える。ここは地元の住民の想いが少しでも反映できる案に再考を求める。
- ・薬師堂の件に関しては、この案を強行するにしても、変更の余地が有るにしても、説明会をもう一度する必要があるのではないか。
- ・薬師堂については、現行ルート案についての変更の声もかなり強いこともあることや、過去に新たな追加運行路線として設定したという経緯もあることを考えると、薬師堂自治会館に停留所（西 15）とし、そこから市道 71 号線を江川方向に左折し、以後は現行のルート市道 72 号線（西 10-2、西 10-3、西 10-4）を通り、市道 17 号線との交差点を右折し、ルート案の路線の逆方向（北本方向）に進行し、信号機のある市道 71 号線交差点を左折していくルートが、試験運行として最適であると考えます。市内循環バスの目的が、公共交通空白地域の解消や市民の利便性向上、高齢者の免許返納推進等という状況であれば、それらの観点を優先し、次の優先は財政的負担軽減、次は迅速な回遊であると思う。これだけの声がある中で、努力しないと後々の色々な支障が出てくることも不幸である。

ここは、乗車人員実績主義ということだけでなく、公共交通開設による周辺環境の変化（地域への訪問増、人口増、土地利用形態の変化等）の誘導という効果もあることから、市としてのここは腹をくくった対応が必要ではないか。

- ・運行便数については、実際の便数が確定していない中で、場合によっては減便となる可能性もあることから全ての部分で●便以上と記載するのではなく、●便程度と記載した方がいいのではないか。
- ・駅東側の小針領家方面に行く路線は駅東口の内回りの路線から 1 日 4 便程度向かう計画となっているが、利用者にとっては非常に利用しにくいバスとなってしまふ。できれば、内回りの路線とは区別した形で運行することが望ましい。

○料金について

- ・方針の枠外に、「要配慮者の利用しやすさの向上についてもさらに検討を進める」と書かれているが、方針の枠内に「要配慮者の利用しやすさを検討する」という内容を入れるべきである。その上で、高齢者は後期高齢者と合わせた半額制度にすべきと考える。
- ・オリパラを契機に、障害のある方とのインクルーシブ社会を構築しようという機運に水を差すことなく、無料とし、同伴者は半額としてください

○その他の意見

- ・試験運行期間は明確にすべき

2. パブリックコメントの回答に関する意見

○回答の方法について

- ・「ルートの考え方」の意見への対応として、抽象的な説明では市民に理解されず、今後の試験運行計画にも支障を来す恐れがあると考え。「利用状況」や「車両の軌跡を描くと交差点を曲がれない」など、客観的な数字等で意見にあるルートの設定ができないことを説明したほうが良いと考える。

・先に提示されたパブコメに対する回答案文の説明で感じたことは、かなり抽象的で具体的方向性の示唆が感じられない。このパブコメに対する回答者は市長なのか会議座長なのかという点、事業執行者としての市長だろうと考える。その時に、会議でパブコメでの意見の内容や回答案、委員からの意見もあったことから、回答の中に、例えば“会議委員からは〇〇という意見が出された”などの付記も併せて行うことも場合によっては必要かと思う。

- ・意見を次のように分類し、回答したらどうか。

A：意見を取り入れて施策に反映

B：意見を取り入れて次回以降の施策に反映

C：直ぐに施策には反映できないが、継続検討

D：物理的（技術的・費用面等）において現状では反映不可能

※もしかしたら意見を反映させてくれるのかもと期待を持たせて実際には施策に反映できず、以降の感情的議論になることを防ぐためにも、ある程度の明確な回答をする方が良いと思う。

- ・パブリックコメントで意見が多かったバス停の廃止に関して、もう少し詳しく記載する。